

建設業 K Y T シート

No.1 河川敷で草刈り機（自走式・肩掛け式）による草刈り作業

どんな危険がありますか？
あなたならどうしますか？



作業の状況

炎天下に河川敷で、自走式・肩掛け式の草刈り機を使って草刈り作業をしています。

建設業労働災害防止協会

整理番号	1	業種	造園工事	作業の種類	草刈り作業	災害の種類	転倒 飛来 切れこすれ 巻き込まれ 熱中症
1 作業状況 河川敷で草刈り機（自走式・肩掛け式）による草刈り作業							
2 予想される危険 <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業範囲内への立入禁止措置をしていないため、第三者が作業範囲内に入り負傷する。 2. 炎天下に河川敷で草刈り作業をしているため、熱射病になる。 3. 草刈りする箇所に小石、空き缶等があるため、石等が跳ねて負傷する。 4. 肩掛け式草刈り機の刃先に防護カバーが取付けていないため、切傷する。 5. のり面作業のため、草刈り機（自走式）が転倒し、機械の下敷きになる。 6. 機械にはさまった物を取ろうとして、機械に巻込まれる。 7. 斜面のため、作業員がすべって転び負傷する。 							
3 安全対策・事前処置 <ol style="list-style-type: none"> 1. 作業範囲内は、関係者以外の者の立入禁止の措置をする。 2. 十分な休憩時間や休憩施設を確保し、水分、塩分の補給が容易にできるようにする。 3. 作業服は吸湿性、通気性の良いものを着用する。 4. 草刈りをする箇所は、作業前に石や缶等を除去する。 5. 周囲の車両の状況を確認し、必要に応じ監視人を配置する。 6. 保護メガネ、保護マスク、プロテクター、防振手袋、耳栓等を付けて作業する。 7. 草刈り機で作業するときは、機械を点検してから作業をする。 8. のり面での作業は、機械の性能等を把握して行う。特に急斜面（25度以上）の作業では、機械の性能により等高線刈りで行い、旋回は斜面角度の緩い所で行う。 9. 草刈り機の運転は熟練者が行い、刃に物が挟まった時は動力を止めて安全を確認してから作業を行う。 10. 作業者は、足場を確保するためにスパイク等を使用し、また、機械の下側での作業時間を少なくし、安全を確認してから作業する。 							関係条文 <ul style="list-style-type: none"> ・安衛則第108条 ・安衛則第538条 ・熱中症の予防について(平8.5.21基発第329号)